

一般質問

小学校トイレ改修について



菅原恵子

問 学校施設の老朽化は全国的な問題であり、市内小学校も耐震化はほぼ終了し、トイレの改修の時期がきている。学校トイレは「汚い・臭い・暗い」の3Kと言われ、洋式化されていないなどの理由で子どもたちがトイレに行くのを我慢している現状があるが、改修予定と進捗状況は。

答 洋式トイレへの改修は必要であると考えており、学校施設長寿命化計画により大規模校から実施する。平成30年度は大仁小（予算約1億円程）、31年度は長岡南小の予定。トイレ改修は多額の費用を要し、国の補助金なしでは難しい。補助金の優先順位は耐震化、外壁の改修などの次になり、低い。

問 葦山南小外男子トイレは、コンクリートの打ちっぱなし、いつの時代のものかという程。県教育委員会財務課にも聞いてみたが、屋外防災施設として単費で改修の考えは。

答 改修というより改築という状況であるが、約2千万円が必要である。単

費での改修は予定していない。改修については、子どもたちが一番使う校舎を優先していく。

問 葦山南小北男子トイレはすぐ隣に給食施設があり、漏水があることは問題である。地盤が緩いことが原因か。

答 地盤の緩みがあり、大規模改修の必要ありと把握している。

問 長岡南小1階2階男子トイレは水が溜まると一斉に流れるタイプ。季節問わず教室に悪臭が漂い、教員も児童もこの中で授業という最悪の状況だが。

答 大規模改修時に予定している。

問 長岡南小外トイレの照明が切れていて、ランタンを使用しているのは不安であり、何より物騒ではないか。

答 修繕が必要であり、計画している。

問 改修にあたって子どもたちの意見を聞くなど、教育的配慮を要望するが。

答 可能な限り声を聞いていきたい。



学校トイレに関する絵本

終活支援について



森下 茂

問 身寄りがなく生活にゆとりのない高齢市民を対象に、生前意思を官民連携で実現するエンディングプランサポート事業に対する本市の進捗状況は。

答 医療介護連携事業の体操教室等でアンケート調査を実施し、結果を踏まえ事業のあり方を検討する。

問 希望する市民が誰でも登録できる「わたしの終活登録」、この先進事業を本県の中でいち早く取り入れる考えは。

答 こちらの終活情報登録伝達事業は始まったばかりで、事業効果等の検討を重ねる。

また「わたしの終活登録」で登録できる項目が、高齢者を対象に配布している、救急医療情報シートに重複する箇所が多くある。さらに運用目的も似通っているため、救急医療情報シートの内容を見直していくことも検討していく。

子どもを守る防犯対策について

問 行政は犯罪から子ども達を守る持

続的・総合的な最大限の対応が必要である。不審者事案に対する対策は。

答 県警より配信される不審者情報メールを、青パト実施者、保護者に提供している。また保育園から中学校まで、不審者対応訓練を実施している。

さらに郵便局、新聞店等との見守り協定を結び、子ども達の防犯に協力をお願いしている。

問 防犯に対する様々な対策、防犯備品等は、子ども達を犯罪から守るものである。車に装着する防犯マグネットシール、防犯カメラ、防犯ブザー等設置に対する進捗状況は。

答 マグネットシールは、パトロール実施が明らかな車両に表示すべきであり、防犯カメラ、防犯ブザーの導入についても活用方法を含めて検討する。



防犯マグネットシール

庁舎建替への
再着手について



古屋 鋭治

問 ①国は、4月18日に合併特例債（庁舎建替え等の財源約7割を国が負担する）の利用を2025年度まで5年間再延長することを決定した。当市は、財政事情が厳しく、合併特例債を利用した庁舎建替えの再検討が必要と考えるが、②建設候補地は、平成28年3月までに行政と議会で2年間あまり検討し、5カ所に絞ってあるが（葦山時代劇場駐車場周辺、大仁市民会館跡地周辺、葦山駅周辺、長岡駅周辺、伊豆長岡庁舎）、この認識で良いのか。
③今後の進め方は。

答 ①庁舎建替えは、合併特例債以外に（国からの）優遇措置はなく、特例債再延長による建替え検討は必要。
②大仁市民会館跡地は、5カ所から除外を想定している。
③本年度末までには庁舎整備基本構想の素案を整理し、2025年度末までに庁舎建替えが完了できるよう努力する。



伊豆長岡本庁舎

警察署の市民会館跡への
移転再考を

問 警察署への土地提供は再考すべき理由は、大仁市民会館の機能は昨年4月旧大仁高校に移されたが、県からの借用期間があと8年であること。会館跡地は、市民や議員からも市民のために有効利用を求める声があること。

答 大仁市民会館の代替え施設であるくぬぎ会館（旧大仁高校）、アクシスカつらぎ、葦山時代劇場、葦山農村環境改善センター、長岡のあやめ会館を1カ所に統合を図る計画。候補地は、アクシスカつらぎ、葦山時代劇場のどちらか。このため、大仁市民会館跡地に市民の集える施設建設は考えていない。
大仁警察署の移転については、県警本部との協議を行う方針の変更は考えていない。

快適な生活環境を守る
下水道について



鈴木 俊治

問 下水道未接続世帯の状況はどうか。また、未接続の理由は。

答 平成29年度末の下水道処理区域内戸数は1万3849戸。うち未接続戸数は1287戸、接続率は90.7%。未接続の理由は、「経済的に困難」、「建て替え予定」、「合併処理浄化槽を設置したばかり」など。

問 未接続世帯周辺の水質状況を確認しているか。

答 道路側溝あるいは用排水路の水質調査は行っていない。周辺の交流水域を汚れているとか、悪臭がするという情報を得られれば個別に対応する。

問 下水道接続指導制度を設けての接続指導はできないか。

答 未接続の方々の実効性のある指導を行う必要があるの
で、他市の例を参考に制度を検討していく。



下水道マンホール

農地の有効活用について

問 近年、農業経営者の高齢化と担い手不足により遊休農地が増えつつある。この遊休農地活用対策として農地を貸したい土地所有者と借りたい農家の情報をデータ化した市独自の農地マッチングシステムを構築できないか。

答 静岡県農業振興公社のホームページや「全国農地ナビ」がある。農地法の規制もあるので、現時点で市独自のシステム構築は検討していない。

問 農地の担い手の育成のための奨励金制度を設けられないか。

答 新規就農者や認定農業者への補助金制度などを活用してほしい。

はしかの予防接種について

問 今、はしかの輸入感染が問題になっている。感染率が高くなる接種1回の予防接種空白世代（28歳から41歳）の人数は。その対応はどうか。

答 予防接種空白世代は平成30年5月1日現在6928人。対象者へ抗体検査等を促すため、市の広報やホームページ等で周知を考えている。

静岡DC及び静岡県
補助金制度変更について



八木基之

問 静岡DC（デスティネーションキヤンペーン）実績並びに今後の計画は。

答 静岡DCプレが4月1日に始まり、全国宣伝販売促進会議が開かれ、世界遺産葦山反射炉と野村万作氏の狂言公演が伊豆地区のトップイベントとしてPRされた。また、同会議会場の地域PR体験ブースにおいて、いちごをテーマとした積極的なPRを行った。

10月までに、市内の観光資源をまとめたカタログをエージェント向けに作成し、次年度に向けた売り込みを図っていく。

問 静岡DCの来年度の事業は。

答 JRをはじめ各旅行社を通じた市のPRを図るため、葦山反射炉を舞台とした公演を行いたいと考えている。また、滞在時間の延伸や、市内の滞留を図り、もてなしのまちづくりにつなげていくため、町中に「花」を広げる取り組みを進めていきたいと考えている。

今後、市内飲食店への交流客の引き

込みやリピーターの拡大、宿泊と朝摘みいちごや夜のいちご狩りなど、新しい着地型商品を展開していく。

問 静岡県の観光施設整備事業補助金の制度変更の内容は。

答 事業名が、「観光地域づくり整備補助金」に改変された。

これは、市の中長期的な観光振興施策に基づいて、今まで散発的になりがちであった施設整備「点の整備」を、「エリア」で捉え支援する制度である。

具体的には、市が「観光地エリア景観計画」を策定し、この計画と整合がとれた「観光地域づくり整備計画」を策定することが前提となり、この観光地域づくり整備計画に位置付けられた施設整備が補助対象となる。



人間国宝野村万作氏による 狂言の華 薪狂言

2市(伊豆市と伊豆の国市)で
異なるごみ袋料金の
統一は必要か



田中正男

問 伊豆市と伊豆の国市で行う、新ごみ処理場の運転維持管理費用は2市で負担するが、分別や運搬は各市の負担としている。2市で異なるごみ袋料金を統一する必要はないと考えるが。

答 同じ新ごみ処理施設を利用する住民の公平性の観点から、同一料金が望ましいが、新ごみ処理施設に係る経費は、2市の燃やせるごみの排出量に応じて負担するので、2市により相違がある。指定ごみ袋の料金については、

市民の意見を広く聴取し、一般廃棄物処理対策委員会の意見を参考にして、望ましい料金を設定したい。

葦山の城池親水公園の管理・補修を

問 城池に飛来する野鳥を観察する小屋の外壁が老朽化し、剥がれ落ち内側の材料がむき出しになっていて景観も非常に悪い状態。改修か撤去を。

また、アヤメ畑もアヤメは殆どなく電気柵とかん水用パイプが残っている。どのようにする考えか。

答 腐食の進んでいる屋根や壁面を撤去することとし、新たに防護柵等の設置などを検討していく。

アヤメは現在ほとんどない状況で、減ってしまった原因やアヤメが植栽として適地かも含め検討していく。



城池親水公園の野鳥観察小屋

小中学校の教科になった道徳について

問 特定の価値観や一方的な観念を植え付ける心配はないか。また、子どもの人権、思想・良心の自由の侵害の心配はないか。

答 道徳教育を進めるに当たり、自他の生命を尊重する、自立、社会連帯などの精神や、義務を果たし責任を重んじ、人権を尊重し差別のない社会を実現する態度を養うための指導に配慮することから、ご指摘の心配はないと考える。

タクシー券半減など
後退した福祉施策は
元に戻すべき



三好陽子

問 小野市政の5年間で、敬老祝い金一律支給廃止、がん検診有料化、高齢者施設温泉利用の有料化など、福祉施策が後退した。地方自治体の第一の役割は「住民の福祉の増進」である。今年度から半減したタクシー券は元に戻すべきではないか。

答 前回のタクシー券見直しから10年が経過した。再度の見直しにあたり支給年齢の引き上げや対象年齢の絞り込みも検討した。現在の制度が広く浸透しており、現制度を維持するために減額が必要との判断であった。

市民のために働く職員の有効な配置を
問 市政は時代とともに多様化し、職員の業務量が増えている。職員の健康管理と有効な配置は市民サービス向上につながる。職員数は他の自治体と比べてどうか。

答 総務省の類似団体別職員数状況において、当市と類似団体36市とを比較すると決して多くはない。

問 平成28年度から、政策顧問を起用しているが目的と効果は。

答 市政における重要課題の解決、専門的事項の推進を目的として、培ってきた知識や人脈等を活用いただいている。質の高い事業を、安定的かつ効果的に執行できている。



本庁舎 職員

経済効果が高く耐震化促進につながる
住宅リフォーム助成の継続を
問 住宅新築及びリフォーム助成は、市内業者の仕事が増え、大きな経済効果を発揮している。費用対効果のあるこの事業は継続すべきではないか。

答 平成30年度を一応の終期としており、補助の対象や条件を含め、見直しの時期にきている。地域経済の活性化にも大きく寄与すると考えられるので十分検討したい。

野外活動センター
(茅野つこひろば)を
拡充する考えについて



小澤五月江

問 施設の利用の動向は。宿泊施設に改築し、指定管理も視野に、拡充する考えは。

答 野外炊事場やシャワー施設が完成してから利用者が増えているが、平日やオフシーズンの利用者を増やすことも必要と考えている。

今後県外の小・中学校に積極的なPR活動をしていく。宿泊施設にするには排煙施設整備に約2千万円強が必要。整備が進み利用状況が拡充した場合、指定管理者制度を検討していく。

問 サイクルラックの設置は。

答 サイクルラックや工具、空気入れなどをセットした、バイシクルピットを設置スペースを教育部と協議して検討していく。

災害時の要配慮者支援計画について

問 災害時要配慮者向けの避難所マニュアル作成の進捗状況は。

答 平成30年度中に改定予定。
問 要配慮者の把握と情報共有をどの

ような形でおこなうのか。

答 支援を希望した人に個別避難計画を作成し、毎年更新している。各自主防災組織及び民生委員に情報を提供している。災害時には受付にも活用することを想定している。

問 ヘルプマークやヘルプカードを利用する考えは。

答 要配慮者の対象ではないが支援を必要とされる人にも、利用は有効と考える。今後、避難所生活時にネームプレートなど活用していく計画がある。



ヘルプカードとは
「ちょっと手助けが必要な人」と「ちょっと手助けしてあげたい人」を結ぶカードです。
障がいのある人が持ち歩くことにより、災害時や緊急時など、周囲の人に手助けを求めることができます。

千歳橋をイルミネーションでライトアップしては

問 ライトアップによる誘客活用と施設整備における国や県の補助事業は。

答 活用にはPR効果、交流客や宿泊客増加につながるかなど、経費も含め調査が必要。千歳橋を含む周辺地域を観光エリアと定めれば、県の観光地域づくり整備事業費補助金の申請が可能。